

# 教育研究所年報

第 30 号

2021

文教大学教育研究所

# 教育研究所年報 第30号

## 目 次

### 2020年度 事業報告

事業報告 .....	3
「言語文化研究科 研究発表会」 .....	4
『文教大学の授業』合冊本の刊行 .....	6
「世界の教科書展」のこれからのむけて .....	7
諸外国の教科書収集 .....	8

### 2021年度 事業計画

事業計画 .....	10
------------	----



## 2020年度 事業報告

### <研究部> 研究部主任 山川 智子

#### 1. 「世界の教科書展」の実施

当初は、第27回「世界の教科書展 特集：アメリカの教科書」を、越谷キャンパス学園祭（藍蓼祭）の期間中（10月30日～11月1日）に開催するため、例年どおり準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、学生スタッフや来場者の健康と安全を第一に考え、延期の判断をせざるを得なかった。さらに、2016年度から行っている桶川での巡回展も同様の理由で延期の判断を行った。地域の方たちに教育研究所の活動を紹介する方策を今後も考えていきたい。

#### 2. 「名著の読みかた」（シリーズ企画）の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考え、延期の判断をせざるを得なかった。

#### 3. 『教育研究所年報』第29号の発刊

『教育研究所年報』第29号を5月に発刊した。2019年度事業報告として、新規事業「名著の読みかた」、第26回「世界の教科書展 特集：台湾の教科書」、桶川での巡回展、定例研究会、諸外国の教科書収集表、2020年度事業計画を計13頁に掲載した。

#### 4. 客員研究員の受け入れ

国内の学術機関（他大学を含む）から計5名の客員研究員を受け入れた。

#### 5. 「定例研究会」の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考え、延期の判断をせざるを得なかった。次年度に向けて、実施方法を検討中である。

### <研修部> 研修部主任 手嶋 將博

#### 1. 『教育研究所紀要』第29号の発刊

2020年12月21日付で『教育研究所紀要』第29号発刊。特集テーマは「防災・安全教育の現状と課題」として、依頼論文2編を掲載。自由研究では、研究論文3編、実践研究2編、実践報告1編という内容で、例年通り発刊を継続した。

#### 2. 『教育研究所ニュース』の発刊

2018年度から年1回、10月に発刊を行っているが、第50号は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、世界の教科書展、桶川市での世界の教科書巡回展、定例研究会等の諸事業が中止を余儀なくされたため、2021年度に発刊を延期した。

#### 3. 『文教大学の授業』の発刊

例年通り年4回発刊を継続。第72号「小学校教員志望学生がなぜ大学で歴史学を学ぶのかー社会専修の世界史関連科目から考えるー」（教育学部 平正人先生）、第73号「英語教員免許の必修：英米文化Ⅰ」（文学部 リチャードA. ローガン先生）、第74号「卒業研究のテーマや研究方法を具体化する試み：『人間科学演習Ⅰ・Ⅱ』授業から」（人間科学部 秋山美栄子先生）、第75号「映像メディアで活躍する人材を育てる映像表現教育～『ゼミナールⅠ～Ⅳ』と『映像表現Ⅰ～Ⅱ』」（情報学部 竹林紀雄先生）

#### 4. 『文教大学の授業』合冊本の発刊

『文教大学の授業』の創刊1号～75号（1996年4月～2021年1月発刊）を1冊に纏めたアーカイブの合冊本（ハードカバーB5版装丁）を編集。2021年3月下旬に発刊した。

#### 5. 教育研究所ホームページの運営・更新

## 「言語文化研究科 研究発表会」

日時：2020年7月29日（水） Google meet 開催  
主催：大学院言語文化研究科

### 「文教大学教育研究所所蔵『世界の教科書』について —その意義と教科書研究の可能性—」

研究部主任 山 川 智 子

「世界の教科書展」は、教育研究所の特色ある取り組みのひとつである。越谷キャンパスの学園祭（藍蓼祭）期間中に開催され、学内外から多くの来場者を迎え、年を追うごとに発展してきた。

教科書展では、あるひとつの地域の教育に焦点をあてたテーマを定めることもあれば、あるテーマのもとで複数地域の特定の教科に焦点をあてることもある。主に初等教育の教科書を展示し、教育制度や教科書の内容を紹介し、来場者と意見交換しながら教科書展は発展してきた。

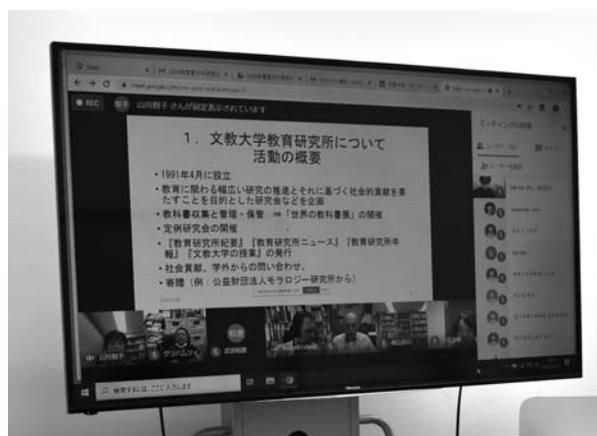
次世代を担う子どもの教育を映し出すのが教科書である。そのため各地域の教科書を比較することで、我々が学ぶことは多い。教科書だけではなく、教育への大人の関心や教員養成課程についても比較の対象としてきた。来場者の方たちに実際に教科書を手にしていただき、教育研究所スタッフと言葉を交わしていただきながら、温かい雰囲気をつくり、教科書展の会場全体でその回のテーマを深めてきた。

今回の発表では、教育研究所のこうした地道な活動の全容について広く知っていただくため、以下のことを中心に話をした。

2020年度  
**言語文化研究科  
研究発表会**  
7月29日(水) 15:15~  
Google meet 開催  
※聴講希望の方は、意文学部室(ganbun@bunkyo.ac.jp)までお問合せください。

第1発表	15:15~16:05
「文教大学教育研究所所蔵『世界の教科書』について —その意義と教科書研究の可能性—」 山川 智子 (文学部教授)	
第2発表	16:05~16:55
「認知的モダリティの「ようだ」と「らしい」に関して —原因・理由論と仮定条件論への出現に注目して—」 于 康飛 (本研究科博士後期課程2年生)	

主催：大学院言語文化研究科



### ①文教大学教育研究所について

教育研究所の理念として掲げられている「教育に関わる幅広い研究の推進とそれに基づく社会的貢献を果たす」という目的を確認した。さらに 1994 年から毎年「世界の教科書展」を開催していることを報告した。こうした活動が学内外からも評価され、2017 年度には、モラロジー研究所から教科書の寄贈を受け、30 か国・地域の教科書を保有し、その数は約 1 万冊に達している。

また、客員研究員の研究の場として定例研究会を設けていることや『教育研究所紀要』『教育研究所ニュース』『教育研究所年報』『文教大学の授業』といった刊行物を発行してきたことも併せて報告した。

### ②「世界の教科書展」の紹介

1994 年度から毎年開催してきた越谷キャンパス学園祭(藍蓼祭)での「世界の教科書展」について、あらためてその意義と経緯を紹介した。当初は付属校を含む本学の図書館において開催されていたが、1997 年度から現在の形式で開催されるようになったこと、さらに、特集テーマが設定され、教科書の展示だけでなくパネル制作・展示も加わるようになったことを報告した。

加えて、2016 年度から行っている学外での巡回展「OKEGAWA hon+」(桶川)について紹介した。地域との連携も教育研究所の重要な任務であり、それをこうした形で実現していることを成果とともに報告した。

世界の教科書を収集し、保管する研究機関は国内でも珍しく、近年はメディア関係者や他の研究機関からの問い合わせも増えている。今後、このような貴重な資料をどのように活用し、どのような形で公開していくかに関して模索中であることを報告し、研究所の状況を共有した。

### ③ドイツの教科書研究の可能性

2016 年の「第 23 回 世界の教科書展」では、ドイツが特集された。報告者がはじめて教科書展に携わった回であった。教科書収集、翻訳、パネル原稿作成、レクチャーを担当した立場から、この回の教科書展を振り返り、あらためてドイツの教科書研究について考察した。「過去の克服」に取り組むドイツが歴史教育に力を入れていること、結果として教科書研究において世界を先導している現状について報告した。ドイツが対話重視の教育を行っていることを、近年出版された教科書の記述の一部を日本語に翻訳するなどして、なるべく具体的に紹介した。

### ④これからの活動

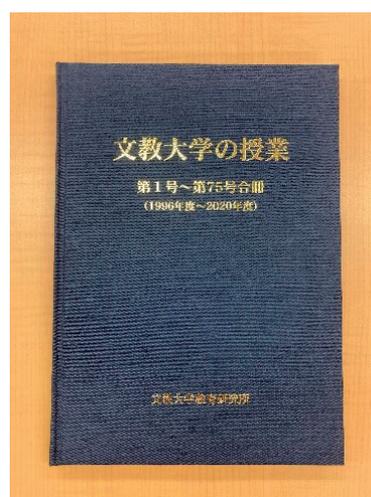
コロナ禍において、来場者やスタッフの健康と安全を最優先に考え、2020 年度の「世界の教科書展」は延期の判断をせざるを得なかった。世界中で「新しい生活様式」が定着しつつある今、教科書展の開催も「新しい様式」を考えなくてはならないこと、さらには教育研究所全体で「新しい教育・研究様式」を検討している現状を共有し、意見交換を行った。

## 『文教大学の授業』合冊本の刊行

教育研究所 前所長 平 正 人

この度、文教大学教育研究所は、本学における多様な授業実践を記録する『文教大学の授業』（年4回発行）の創刊号（1996年4月）から最新号（2021年1月）までを合冊本として刊行した。新型コロナウイルス感染をめぐって教育現場はいまなお混乱が続いている。本学でも2020年度春学期からオンライン授業を実施し、7月には一部の授業で対面授業を再開したが、秋学期も引き続きオンライン授業を原則としている。2021年度は対面授業の再開という方針が打ち出されているものの、今後の感染状況によっては方針転換も否定できないであろう。このように授業形態の変更を余儀なくされているなかで、学生はもちろんのこと、われわれ教員も極度の疲労感を覚えている。オンライン授業（リアルタイム形式であれ、オンデマンド形式であれ）を実施するための通信環境の整備やデジタル機材の準備・利用、またオンライン用の授業準備に要する時間と労力は、程度の差こそあれ、身体的な疲労感を生み出している。だが、それ以上にわれわれ教員を悩ませているのは、従来の対面授業を理想とするがゆえに、それを実施できないことによってうまれる精神的な不安なのではないだろうか。対面授業で期待される教育効果をオンライン授業においても同等に獲得することができるのか、こうした強迫観念に誰もが一度は苛まれたのではないだろうか。

対面授業の全面再開、それはわれわれ教員も望むところである。しかし、オンライン授業には対面授業とは異なる教育効果が期待できることをこの一年で経験したことも事実である。そこで、われわれ教員にいま求められているのは、対面授業が再開されるまでの代替措置としてのオンライン授業という意識を見直して、それぞれの教育効果を活かした新たな授業形態を創り上げていくことなのではないだろうか。われわれ教員は、時代・社会の変化、それにとともなう教育環境の変化や学生の変化を看取しながら、つねに授業改善に取り組んできた。勿論、過去の授業実践がそのままのかたちで現在でも導入されているとは限らない。しかしそれは、授業形態がつねに刷新され続けている証とも言えるだろう。その意味では、『文教大学の授業』は、授業改善に主体的に取り組んできた教員の足跡でもあるのである。こうした認識から、教育研究所は『文教大学の授業』の合冊本を刊行することで、本学における多様な授業実践を新たな授業形態の導き糸として、そしてまた、授業改善にむけたわれわれ教員の熱意をいまこそ発信したいと考えた次第である。



## 「世界の教科書展」のこれからにむけて

研究部主任 山 川 智 子

越谷キャンパスの学園祭（藍蓼祭）で開催している「世界の教科書展」は、教育研究所の特色ある取り組みのひとつである。これまでの教科書展では、ある地域の主として初等教育に焦点を当てた企画、あるテーマに関する複数の地域の教科書を比較する企画、および特定の教科に関して複数地域の教育を比較・検討する企画など、様々な視点から企画・運営を行ってきた。会場では原則、初等教育の全教科の教科書を展示し、教育制度や教科書の内容を紹介してきた。来場者との意見交換の場として教科書展は発展してきた。

世界の教科書を収集し、保管する研究機関として、教育研究所は存在感を高めるべく努力している。高校生や他大学の研究者をはじめ、メディア関係者や地域の方たちからの問い合わせもいただくようになった。少し前になるが、2017年度には公益財団法人モラロジー研究所から教科書の寄贈を受けた。現在、教育研究所では約30か国・地域の教科書を保有し、その数は約1万冊に達している。教育研究所として、引き続き収集、保管活動を展開していく予定である。

1994年度から毎年開催されてきた教科書展は、2018年度には「第25回」という記念すべき回を迎えることができた。2019年度まで26回続いた教科書展であるが、2020年度はコロナ禍で関係者の健康と安全を最優先に考え、延期されることとなった。展示されている教科書を実際に手に取る、事前収録したインタビュー動画の入ったiPadを操作する、さらには会場で意見交換をするなどの教科書展の特色とも言える点が、コロナ禍においては控えなければならなくなかったからである。

2020年度に予定していたのは、「特集：アメリカの教科書」であったが、2021年度での開催に向けて仕切り直している。2016年度から実施している学外での巡回展も延期となった。

学内で四半世紀続き、そして学外巡回展も2020年度で「第5回」という節目を迎えるはずだった「世界の教科書展」が、コロナ禍で開催されないことが決定された時、スタッフ一同、忸怩たる思いを抱かざるを得なかった。しかし、だからこそ、コロナ禍でも安全に教科書展を実施できる方法を考えるという新しい目標を見出すことができた。

教科書は次世代を担う子どもの教育を映し出すものである。子どもの学ぶ姿を見て大人が学ぶこともたくさんある。地域社会の教育への関心や教員養成課程について世界各地の状況を比較検討した成果発表のひとつが「世界の教科書展」である。コロナ禍をのりこえた先にある「新しい様式」での教科書展を今後も維持し発展させたいと考えている。



## 諸外国の教科書収集

教育研究所では、設立当初より海外の教科書を収集してきた。収集した教科書は「世界の教科書展」に展示し、近年はマスコミからの問い合わせや取材依頼も多い。

これまでに教育研究所が収集した諸外国の教科書は、次のとおりである。

### 1. 初等学校 (計 25 カ国 1998 冊)

(2021年3月31日現在)

国	教科	国語	社会	算数	理科	生活科	総合科	音楽	美術	体育・健康	実科	英語	日本語	道徳・宗教	情報	国際理解	その他	計(冊)
アメリカ		42	17	46	8		5										3	121
イギリス		20	12	8	12										10			62
インド		141		5			10			7				9	15			187
インドネシア		6	12	6	6				6	2		6		6			6	56
オーストラリア		60	7	23	18				6	10	6		3	3		1	7	144
オランダ		2	3	6	6							1					2	20
韓国		26	14	23	16	10		4	4	8	2	6		10			8	131
ケニア					3													3
シンガポール				23	13					6		5						47
スイス		2		1														3
スペイン		6	4	6	6		4					6		7	2		1	42
スリランカ		7		5								6		6				24
タイ		12	6	7	6	1	1		2	6	6	6					6	59
台湾		18	12	21	12	6	18		12	18		20						137
中国		10	11	16	15			6	5			44		6			1	114
ドイツ		8		11		20	4	2	3			17		3				68
トルコ		22	19	18	16							18		19			22	134
バングラディッシュ		5		3								1					3	12
フィンランド		28	7	26	18							13						92
ブラジル		10	9	9	9				5			5		11			6	64
フランス			10	7								20						37
ポーランド		1		1	1													3
マレーシア		36	6	33	22	7		3	5	15	3	33		24	3		15	205
ラオス		10		10		10			5	5		6					5	51
ロシア		51	1	27	3	26		4	9	4	11	36			7		3	182
計		523	150	341	190	80	42	19	62	81	28	249	3	104	37	1	88	1998

※冊数には教科書の他に教師用指導書、ワークブック等含んでいます。

※トルコの教科書については、教育制度の理由から小中学校で使用されている教科書の数値。

## 2. 中等学校(前期・後期) (計 15 カ国 713) (2021年3月31日現在)

国	教科	国語	社会	歴史	地理	公民	数学	科学	生物	化学	物理	音楽・美術	体育	家政・技術	外国語	道徳・宗教	情報	その他	計(冊)
アメリカ			1	1	1					2								3	8
イギリス		8	8	3	3	2	4	6	1	1	1	2			2		2		43
インドネシア		3	3			3	3	3							3	3		3	24
韓国		5	2	2			3	3				4	2	3	5	2		3	34
シンガポール				3	7		3		1	4	2			2	4				26
スペイン		5		2	3	1	5	2	1		2	1	4	3		4			33
タイ		8	4				10	5				2	2	6				3	40
台湾		9	18	3	3	3	10	17	1			6	6		12			6	94
中国		9		16	8		10		6	5	7	8			11			1	81
ドイツ		3	2	31	9		8	2	3	2	2	5		1	8		2		78
ネパール							1	1							1				3
フィンランド		3	4	3	3		6		5	1	1	4	1	1	6	1		1	40
フランス		3		2	1		2								20				28
ラオス		14		7	7	7	8		3	3	3		1	8	18			15	94
ロシア		15	6	9	4		8		4	4	3	10	3	2	5	6	2	6	87
計		85	48	82	49	16	81	39	25	22	21	42	19	26	95	16	6	41	713

## 3. 公益財団法人モラロジー研究所からの受贈コレクション (計 18 カ国 7249 冊)

## 1) 本学研究所のコレクションに含まれていない国の教科書

国名	受贈冊数	国名	受贈冊数
香港	236 冊	旧東ドイツ	48 冊
イタリア	497 冊	旧西ドイツ	256 冊
カナダ	266 冊	旧ソ連	280 冊
スウェーデン	81 冊		

## 2) 本学研究所が所蔵しているものの、その数が少ない国の教科書

国名	受贈冊数	所蔵冊数	国名	受贈冊数	所蔵冊数
アメリカ	1489 冊	129 冊	スペイン	150 冊	75 冊
中国	832 冊	195 冊	フィンランド	97 冊	132 冊
韓国	549 冊	165 冊	ロシア	39 冊	269 冊
ドイツ	760 冊	146 冊	フランス	616 冊	65 冊
イギリス	735 冊	105 冊	スイス	150 冊	3 冊
台湾	168 冊	231 冊			

## 2021年度事業計画

### <研究部> 研究部主任 山川 智子

#### 1. 「世界の教科書展」の実施

世界各地における教育の現状を理解するための資料として収集した教科書、および解説資料を展示し、海外の教育事情を紹介する。例年通り、「世界の教科書展」を越谷キャンパス学園祭（藍蓼祭）で開催する。実施方法は検討中である。2021年度は、2020年度の予定であったアメリカの教科書を展示する。さらに、2016年度から始まった学外での展示として、「OKEGAWA hon +」（桶川）でも「世界の教科書展」を開催する予定である。

#### 2. 『教育研究所年報』第30号の発刊

2021年5月に発刊予定である。「言語文化研究科 研究発表会」の報告、「文教大学の授業」合冊本刊行の報告など、前年度の活動報告および今年度活動計画を中心に、11頁にまとめて掲載する予定である。

#### 3. 客員研究員の受け入れ

国内の学術機関（他大学を含む）から、6名の申請者があった。教育研究所会議にて審議を行う予定である。

#### 4. 「定例研究会」の実施

2021年度は藍蓼祭期間中（2021年11月、通算第99回）に実施する予定である。開催方法は検討中である。

### <研修部> 研修部主任 小幡 肇

#### 1. 『教育研究所紀要』第30号の発刊

『教育研究所紀要』第30号の特集テーマは4月の研究所会議にて正式決定し、5月中旬に、特集テーマに関する論文の依頼、および投稿論文等の募集を開始する。原稿締め切りは9月下旬で、2021年12月に発刊予定。

#### 2. 『教育研究所ニュース』50号の発刊

本研究所の事業の進捗状況や活動の報告を中心に、学内外にそれを知らしめていく広報誌としての役割を担う本誌は、5月に『教育研究所年報』が出る関係から、2018年度より年1回の発刊を行ってきたが、2020年度は新型コロナウイルスの影響による諸事業や研究会などの中止を受けて発刊を1回休止とした。2021年10月中旬より発刊再開の予定。

#### 3. 『文教大学の授業』76、77、78、79号の発刊

引き続き、文教大学の教員の授業を学内外に紹介していく。2021年度は、教育学部 福田ステーブ利久先生（5月・76号）、国際学部 孫美幸先生（7月・77号）、教育学部 小幡肇先生（10月・78号）文学部 荒井智子先生（1月・79号）に執筆いただく予定である。

#### 4. 教育研究所ホームページの運営・更新

2021年度も引き続きコンテンツの整備と発信内容の精査、積極的な情報発信に力を入れていく。

## 2020年度

所 長	平 正人		
研究部主任	山川 智子		
研修部主任	手嶋 將博		
事 務	河口 恭子		
客員研究員	綾 牧子	阪本 陽子	清水 香保理
	中川 真規子	矢作 由美子	

## 2021年度

所 長	手嶋 將博		
研究部主任	山川 智子		
研修部主任	小幡 肇		
事 務	山上 真理		
客員研究員	綾 牧子	阪本 陽子	清水 香保理
	中川 真規子	矢作 由美子	木場 雪香

教育研究所年報 第 30 号

---

発行日 2021 年 5 月 1 日

発行者 文教大学教育研究所  
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島 3337  
電話 048-974-8811

印刷 有限会社 カワカミ印刷  
電話 048-976-0007

---